

大津市中心市街地活性化協議会プロジェクト会議 事業計画及び活動実績

プロジェクト会議名	大津町家利活用プロジェクト会議
-----------	-----------------

年度	活動計画（予定含む）・活動実績※具体的に	中活協議会予算支出予定額・実績額内容
平成25年度 （実績）	①町家じょうほうかんの運営 ・活用希望者へ新規物件（1件）を紹介 ②空き町家の活用提案 ・2物件について活用方策の検討を実施 ※所有者の意向により実現せず ③空き町家所有者に対する活用ニーズ調査 ・平成24年度町家調査を基に、空き町家所有者に 対して、今後の活用意向を確認するアンケート調 査を実施（※詳細は別紙のとおり）	実績額：449,400円 内訳： ③大津百町・空き町家活用意向 ニーズ調査業務委託 449,400円
平成26年度 （予定）	平成25年度実施のニーズ調査結果を基に、 ①町家じょうほうかんの運営 ・空き町家の情報収集と物件調査 ・活用希望者への物件紹介 ・運営体制の検討、移行 （市・曳山連盟→まちづくり大津） ②空き町家の活用提案 ・活用方策の検討と活用提案（資金計画含む）	予算額：200,000円 内訳： ①運営体制検討費 100,000円 ②活用提案委託費 100,000円
平成27年度 （予定）		
平成28年度 （予定）		
平成29年度 （予定）		

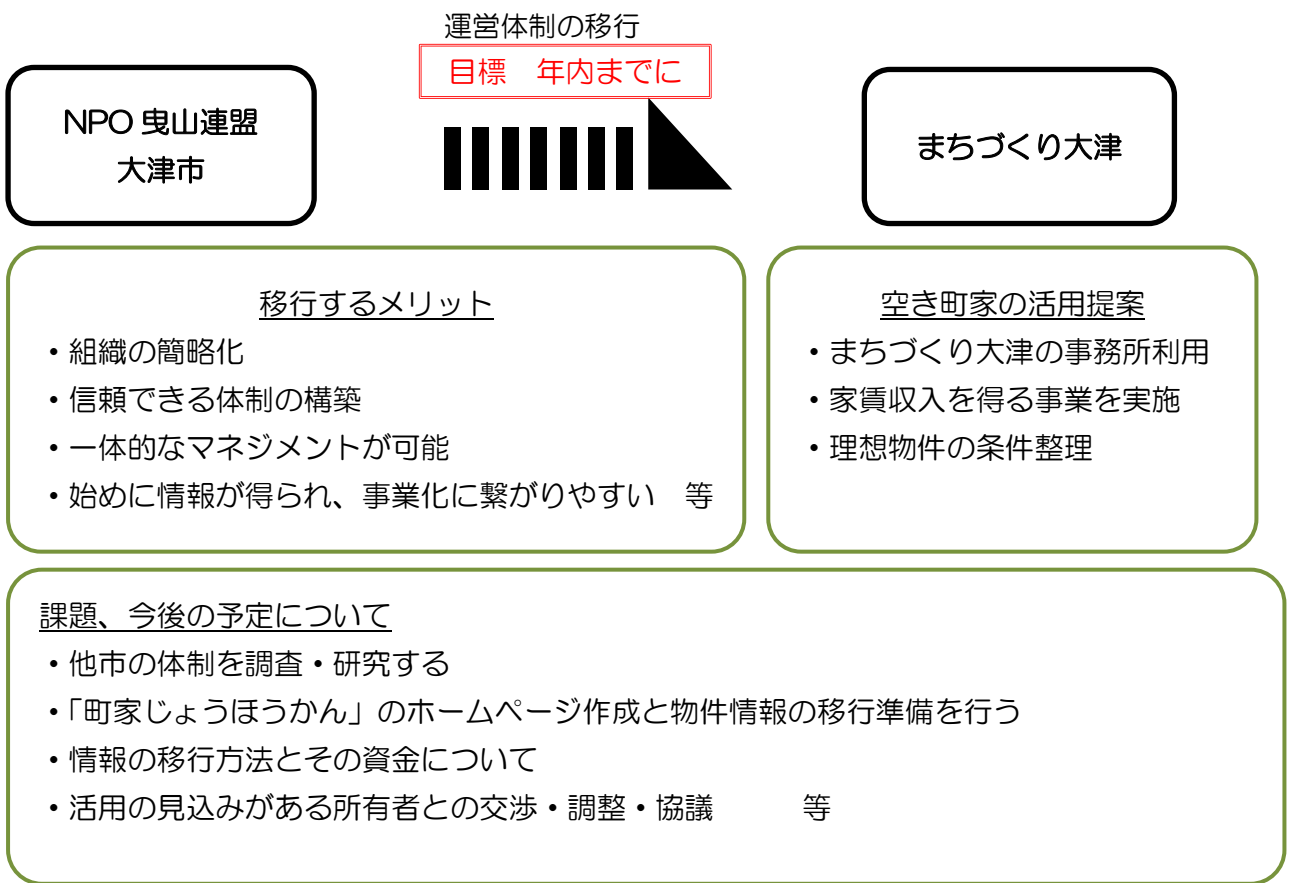
平成26年度大津町家利活用プロジェクト会議

○ プロジェクト会議の開催

	開催日	概要
第3回会議	平成26年6月3日（水）	・『町家しょうほうかん』の運営をまちづくり大津に移行することについて ・運営体制の整備とスケジュールについて ・空き町家の活用提案について
第4回会議	平成26年7月7日（水）	・『町家しょうほうかん』の運営をまちづくり大津に移行することについて ・空き町家の活用提案について

※第1回会議は平成25年7月1日、第2回会議は平成25年9月5日に開催

会議内容まとめ



空き町家情報バンク事例調査

～ 小江戸ひこね町家情報バンク ～

小江戸ひこね町家情報バンクは小江戸ひこね町家活用コンソーシアムが運営している。NPO 法人・地元企業・市民団体・商工会議所・行政により構成され、公益性の高い団体である。

- ・詳細情報の渡し方は、所有者さんごとに異なり、その都度決める。
- ・空き町家の情報の集め方は直接交渉に行くこともあるが、基本集まってくる。市役所と自治会長にアンテナを張っておく。
- ・HP に載せる物件ごとに、不動産屋を明記しておく必要がある。

～ おうみはちまん町家情報バンク ～

- ・町家情報バンクでは、物件の紹介や必要な連絡調整は行いが、「空き町家の所有者」と「活用希望者」の間における物件の賃貸借・売買に関する交渉、契約等に関しての仲介業務は行わない。
- ・仲介業務は近江八幡商工会議所不動産部会の会員に属する不動産業者が行う。

～ 京町屋 net ～

- ・情報開示の方法は、借り手にユーザー登録をしてもらい、個別に面接を行ったうえで、ユーザーのみ閲覧できる情報と、一般の人が見られる情報とに分けている。
- ・登録料は初めの1年間で2,000円、次年度からは更新ごとに1,000円/年
- ・運営者については、事務局員2名（副業）で、その他登録不動産業者25社とミーティングを行っている。

②空き家となった町家の分布

